

令和5年度

入試問題及び解答

(全教科考查時間は50分です)

縮小版

実物大はA3サイズで片面印刷になります

受験科目

全コース	3教科 (国語・数学・英語)
または	5教科 (国語・数学・英語・理科・社会)

金蘭会高等学校

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(問題作成の都合上、一部文章を改編している箇所があります。)

世界の人人々にとって、日本人のおかしな側面が垣間見えることの代表例として、過剰な「おもてなし」があります。

二度目の開催となる東京オリンピックの「ショウチ以来、広く喧伝されてゐる『おもてなし』」というのは、まるで日本の美徳のような感じで、「日本スゴイ!」番組の常連ネタとして登場しています。ところがこの「おもてなし」というのは正直に言って、日本人のおごった一面を反映しているにすぎません。

本来、日本の「おもてなし」は「相手が思っていることや希望していることを自分のほうである程度推測し、先回りして何かをやってあげたりサービスしたりする」ことを指します。

ようするに①を読んだり相手の考えていることを②たりすることであり、つまり今風にいえば「忖度」であります。

これは日本社会においては「相手が自分の心(気持ち)を汲んでくれた」「気を遣って何かをやってくれた」ということで「とても嬉しいこと」のように思えるのですが、文化も言葉も違うところではそういうわけにはいかないことも多いものです。

それはなぜでしょうか――。さまざまな人種やいろいろな宗教の信者がいる土地では、相手の求めることや想定していることを読みこなすのがかなり難しいからです。

食べるものひとつとっても、日本では料理人がすべてを味付けします。一方、お客はそれを自分ではほとんど味を加えないで、「ただ食べるだけ」というのが一般的であり、当たり前のようになっています。

I、④、そのような食べ方をしない文化圏というのも当然ながら存在します。

ちなみにヨーロッパ北部の場合は、味付けは食べる人それぞれの嗜好に合わせたという考え方があるので、料理段階での味付けは最小限にしてテーブルの上で塩や胡椒、ケチャップやマスタードやらソースなどをかけて自分の好みに味を調整します。

II 日本のように野菜の煮物やおひたしなど最初から味が付いてしまっていて、自分で好みの味をアレンジできないのは嫌だという人もけっこういるのです。

さらには健康維持のため塩分の量に気を遣っていると、植物性ユライのものしか使用したくないという人もいるので、先にいろいろな味を付けられてしまうと困るというわけなのです。

これは個人個人によって味の好みも見た目の感覚も違うので自分の好きなようにしてください――という北欧の「個人主義」の反映です。

人間は一人ひとり感性も味覚も異なり、同じということはありません。とうぜん料理に対する思想も違う。だったら自分の好きなようにできるような機会を提供するのが最大の「おもてなし」であり、それが人間性の尊重というものではないでしょうか。

個人の人間性を尊重することは、個人個人が自由に生きること、個人の意思を重んずるということです。これは自分の意志で自由に生きることが幸福の最大の追求であり、個々の人間が幸福になることが社会全体の発展を推進するという個人主義社会の根源的な信条でもあるのです。

また個人の幸福や社会の発展は「神が望む、より良き社会をつくる」ための「奉仕」であるといったキリスト教的な側面もあるのでしょう。すなわ

ち、海外では哲学のレベルで「おもてなし」の方向性が日本とは基本的に異なるのです。

こうした考え方は日本にはなかなかありません。

わが国では料理のプロが調理してくれた味付けを無視して自分の好きなように食べるというのは「何という失礼なことだ!」というような風向きになってしまっています。

こうした日本人の考え方は、海外の人にとっては正直いって⑧でしかないことも多い。相手は自分のとった行為をありがたく思うべきだ、私は相手の心が読めるし、どうすれば顧客が喜ぶかということを完全に把握しているのだ、という態度は単なる思い込みにすぎないのです。

こうした考え方は、わが国の「おもてなし」の代表ともいえる日本のホテルや旅館でのサービスでも同様です。

日本の旅館では女将や仲居さんが、お客さんが要望する前におしぼりを持ってきたり、靴を揃えたり、さらには旅館の判断でヨキしないうきに係の方が突然やってきては「勝手に」布団を敷いてしまったりします。そのうえサービスで歯ブラシや手拭きを持ってきてくれるとか、浴衣の上に羽織る丹前まで持参する手際の良さです。

これらは日本人には⑩サービスかもしれません。

ところが、こうした細かいことはどうでもいいと思っている海外のお客さんも少なくない。自分好みのものを持ちこんでいるので過剰なサービスはかえって迷惑だということもあるのです。

お客さんを旅館サイドが常に細かく「見張っていて」、お客さんの気持ちはからって⑪サービスをするという形になっているのですが、これは外国の人からすると実はとても疲れることでもあるのです。

III 四六時中ずっと監視されているようでもあり、とても気持ちがよいものではない――ホテルや旅館にはわざわざお金を払って休暇をとって来ているわけだから、あまり人に気を遣わず自由に⑫したい――という方もとりわけ外国人には多いようです。

これは日本の「コウクウ会社の飛行機に乗ったときにも同じことがいえま

す。日本のエアラインは総じてサービスが過剰であり、飲み物などを頻繁に持ってきてくれることが少なくありません。しかしながらこうした行為は外国人にとって有難迷惑ということもあるので、もう少しサービスの方法を改善したほうがいいのではないのでしょうか。

飛行機に乗ったときに外国人が期待するのは、こういった細かいサービスが第一ではありません。テロリストを速やかに撃退するとか、シートの座り心地が良いとか、病人が出た際に迅速な救護をしてくれるといった本質的なことだったりします。ですので日本のような「おもてなし」はさほど有り難がっていないことが多いのです。

ところが日本人は「おもてなし」をすれば誰でも喜ぶだろうと思いついでいるので、他の文化圏の人たちは⑬ということを想像もしていない人が多い。

これは日本の家電製品を見てもよくわかることで、細かいボタンがたくさん付いていて説明もぎっしりです。

IV 洗濯機ひとつを見ても、残り湯を使いまわす機能やそのためのホースが用意されていたり、室内乾燥するために洗濯物を生乾きにする装置がついていたりします。

細かい機能がたくさんあるのはV悪いことではありません。しかし、

ボタンがいっぱいありすぎて使いこなせなかったりするのはいかがなものでしょうか。〔中略〕

掃除機に関しても同様です。〔中略〕

実際のところ外国人が求めているのはそういう繊細な機能ではなくて、たとえばボタンは三つくらいいいからとりあえず洗いたい、掃除機はゴミさえ吸い取ってくればいい、という □^④純さであったりします。

つまるところ日本メーカーの「忖度」は傲慢な思い込みの押し付けであることが多く、他の文化圏の人たちにはほとんど通用しない——ということ

す。
（谷本真由美『世界でバカにされる日本人―今すぐ知っておきたい本当のこと―』）

問 1 ― ① に入る語を二字で答えなさい。

--

問 2 ― ② に入る語として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア、尋ね イ、助け ウ、無視し エ、察し

--

問 3 ― 部③の理由に当たる一文を本文中から抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問 4 ― I ～ V に適する語をそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ語を二度使用しないこと。

ア、たとえば イ、決して
ウ、ところが エ、そのため オ、まるで

	I
IV	II
V	III

問 5 ― 部④に関する説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

--

ア、日本では、出された料理に味を加えずに食べるのが一般的だが、国外では、最初からまったく味付けされていない料理が出てくるのが一般的である。

イ、日本では、出てきた料理にほとんど味を加えずに食べられるよう調理されているが、国外では、自分の好みに味付けをして食べられるよう調理段階の味付けは最小限にしている地域がある。

ウ、日本では、食べる人の好みに合わせて味付けできるように調理されているが、国外では、味を加えずに食べられるように調理されている地域が多い。

エ、日本でもそれ以外の地域でも、最初からしっかりと味付けをしておいてほしい人もいれば、自分で好みの味に調整したいという人も

問 6 ― 部⑤「アレンジ」と同じような意味で使われている熟語を本文中から抜き出さない。

--

問 7 ― 部⑥とあるが、これを踏まえると「おもてなし」とはどうすることだと言えるか。最後が「～こと。」で終わるように、端的に表現している部分を本文中から抜き出さない。

--

問 8 ― 部⑦とあるが、日本とは異なる海外での「おもてなし」の方向性の根本にある考え方として、当てはまらないものを選び、記号で答えなさい。

ア、個人が自由に生きることや個人の意思を重んじ、それを

--

推察すること。

イ、自分の意志で自由に生きることが幸福の最大の追求であること。

ウ、個々の人間の幸福が社会全体の発展を推進すること。

エ、社会の発展や個人の幸福は、神が望むより良い社会にするための奉仕だというキリスト教的な側面。

問 9 ― ⑧ に入る「偉そうにして人を見下す様子」という意味の熟語を本文中から抜き出さない。

--

問 10 ― 部⑨とあるが、これはどういうことか。説明した次の文章の空欄に合うように、適当な語句を本文中から抜き出さない。

日本人の考え方は、どうすれば相手が

--

かを把握して

おり、客が

--

する前にサービスを提供することが良いと

されている。しかし、それは単なる

であり、

海外の人にとっては求めているのにサービスをされること自体が

--

な場合もあるということ。

問 11 ― ⑩・⑪ に入る語として、最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア、後回しの イ、先回りの
ウ、心地よい エ、不快な

⑩
⑪

問 12 ― ⑫ に入る語として、最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア、サービス イ、リラックス
ウ、チャレンジ エ、シェア

--

問 13 ― ⑬ に入る言葉として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア、考え方が違う イ、共感してくれる
ウ、視点がずれている エ、何もわからない

--

問 14 ― 部⑭が意味の通じる語句になるように、空欄に漢字一字を補いなさい。

--

純さ

問 15 ― 部 1 ～ 8 のカタカナは漢字に直し、漢字には読みを書きなさい。

1	ショウチ	2	ユライ	3	尊重
4	ヨキ	5	手際	6	コウクウ
7	頻繁	8	速やか		
			やか		

【国語】

【一】

問 1 空 気

問 2 エ

問 3 さ ま ざ ま な く か ら で す 。

問 4 I ウ II エ III オ IV ア V イ

問 5 イ

問 6 調 整

問 7 自 分 の 好 き な よ う に で き る よ う な 機 会 を 提 供 す る

問 8 ア

問 9 傲 慢

問 10 喜 ぶ

要 望

思 い 込 み

迷 惑

問 11 ⑩ ウ ⑪ イ

問 12 イ

問 13 ア

問 14 単 純 さ

問 15 1 ショウウチ 招 致 2 ユライ 由 来 3 尊重 そんなちよう 4 ヨキ 予 期 5 手際 てぎわ 6 コウクウ 航 空 7 頻繁 ひんばん 8 速やか すみやか

【二】

問 1 イ

問 2 ア

問 3 (1) エ 無 挨 拶 の 顔

問 4 ④ こう ⑥ うとまれん

問 5 ウ

問 6 2 嫌 が ら れ る 1 時 間 が な い

【三】

1点×10 <10>

① 余 地 ② 対 象 ③ 努 め る ④ 穏 や か ⑤ 貢 献 ⑥ せいじやく さくげん ⑦ しんぴ かんわ ⑧ ⑨ ⑩ こばむ

【四】

1点×5 <5>

① 腹 ② 首 ③ 口 ④ 目 ⑤ 尻

【五】

1点×5 <5>

① 頂 ② 縦 ③ 攻 ④ 即 枯 ⑤